

飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる



クリスマス会のために家から野菜を持参。
(カンボジアの子どもたち)

Get myself back again

日本国際飢餓対策機構 広報主任 鶴浦弘敏

2016年がまもなく終わろうとしています。皆さんにとつてこの1年はどのような年だったでしょうか。年末年始には、日本のあるいは世界がどうであったか、これからどうなるのか、といった各種メディアの特集やそれに寄せるアナリスト (専門家、分析家) と呼ばれる人たちの発言を見聞きすることもあるでしょう。しかし、2016年世界はそうした専門家をもってしても予見できなかった方向に向かいました。英国のEU圏離脱決定、米国の大統領選挙結果が、瞬間的にせよ世界経済の先行きに不安を与えました。庶民の私たちにも「まさか」であったわけですが、国のあり方を動かすほどの変化の背景には民衆の大きな力が働いたと感じざるを得ません。いま隣国でも国のリーダーの不正疑惑を糾弾する民衆の声が高まっています。隣人として祈るばかりです。

歌手の安室奈美恵さんの「Get myself back again」という曲のサビの一部にこのような歌詞があります。「…こんなにも世界は綺麗なのに 黒い感情抑えられず正義とすり替えてた Get myself back again 傷つくために生まれてきたんじゃない」

本来は信頼し合っていけるはずの友や仲間とうまく

やっていけない自分、怒りや赦せないという黒い感情を正義にすり替えて、友も自分も傷つけていた、だからもう一度本来の自分を取り戻そう (Get myself back again) という思いが込められています。

新たなリーダーを選んで自分たちの国のあり方を変えようとする民衆の正義の矛先が、国を追われた難民の排斥にも向かっていることに、抑えられない黒い感情の高まり、危うさを感じます。「共に生きる」、「愛し合う」という人間本来の生き方が難しい時代になろうとしています。私たちの中にも黒い感情があります。だからこそ本来の自分を見失わないようにしたいのです。

『愛の書』とよばれている聖書のコリント人への手紙に「愛は寛容であり、愛は親切です。…自分の利益を求めず、怒らず、人の悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます」ということばがあります。神様は人間本来の生き方を貫くためには「愛」が一番大切であると、教えてください。時代がどのように激しく動いたとしても、隣人もそして自分も愛する人でありたいと願います。

この1年皆様の「愛」のささげものによって共に生きる世界が実践されていきました。心より感謝いたします。

★ 2016年 今年もありがとうセット ★

④ パンの缶詰 (賞味期限 3年・備蓄に最適)
オレンジ味、ストロベリー味、新発売のブルーベリー味 各1缶入り・3缶セット 税込1,290円

⑤ ハンガー・ゼロ・レギュラーコーヒー

モカ・ブレンド 税込930円

④⑤セット合計 2,220円+送料
900円=3,120円 (但し北海道、沖縄、離島は送料300円加算)

◎先着16名様には、バングラデッシュ製ポケットティッシュカバー (千円相当) をプレゼント。色はお任せとなります。

⑥感謝のプレゼントは16個限定数です。収益の一部はハンガー・ゼロ活動の支援金になります。

★国際協力カレンダー「地球家族」2017年版
お申し込み受付中。

【問合せ】キングダムビジネス

〒540-0026 大阪市中央区内本町1-4-12NPOビル402

TEL: 06-6755-4877 FAX: 06-6755-4888

メール: customer@kbwin-win.org

Web: キングダムビジネスで検索。



知る・触れる・つなげる世界!

高校生のための国際交流・国際協力
EXPO2016 (大阪)

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth

トーク、ファッションショー、ワークショップ、茶道など、学生、一般の方も参加できます。

日時: 12月23日 (金・祝) 10-17時

会場: 大阪国際交流センター

(大阪府大阪市天王寺区上本町8-2-6)

ホームページ <http://owf-youth.com/>

● 年末年始は本de リンクの活用を

大掃除などで、不要になった本 (コミックも含む) やCD、DVD、ゲームソフトをJIFH愛知事務所までお送りください。換金して、飢餓に苦しむ人々の支援に用いることができます。なお、破れや書き込み、汚れのあるものはお引き受けできません。詳しくは愛知事務所まで。

募集! あなたが始めた「わたしから始める」 ～みなさまの取り組みを紹介させていただきます～

世界の飢餓・貧困に苦しむ人のために、皆さんが家や学校、職場などで始めておられること、また人の役に立つ喜びなどを分かち合ってくださいませんか。何かしたいけどどうすればいいの? と思っておられる方の励みになるように、飢餓対策ニュースで掲載をさせていただきます。

食べ物への感謝、貯金箱を置いて募金、世界食料デーに参加、里子支援など心がけていることを300字前後で大阪事務所広報宛、あるいは jifhpr@gmail.com にメールでお送りください。写真もあればお願いします。なお連絡先も必ず明記ください。



ハンガーゼロ
サポーターを
大募集中!!

現在までに
4253口

今すぐ▶▶▶ 各種支援の お申し込み ができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。
お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

- ☐ クリスマス募金に協力します。
一時募金 () 円
- ☐ ハンガーゼロ・サポーターとして協力します。
毎月 () 口 (1口1,000円)
- ☐ チャイルド・サポーター (世界里親会) になりたいので説明書 (申込書) を送ってください。
- ☐ 海外スタッフ・サポーターとして協力します。
毎月 () 口 (1口1,000円)
- ☐ JIFHサポーターとして協力します。
毎月 () 口 (1口500円)
- ☐ 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- ☐ その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

フリガナ 氏名: 男・女

〒

フリガナ 住所:

.....

(電話)

▼申込日: 年 月 日▼NL 317号

FAX・072-920-2155

■発行者 岩橋竜介

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

ハンガーゼロ
で検索!

Webサイトアドレス <http://www.jifh.org/>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック <https://www.facebook.com/hungerzero>

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイトで

●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構

●他の金融機関からの自動振替 ●クレジット、デジタルコンビニ

今すぐ
募金
ができます!

ゆうちょ銀行
そのほか各金融機関

VISA

クレジットカード決済

コンビニ決済で募金申込
FamilyMart
Lawson
セブンイレブン

かざして募金

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
東北 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6 エマオ2階E
TEL (022)217-4611 FAX (022)217-6651
愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
広島 〒730-0036 広島市中区袋町4-8 CLCボックス2F
TEL (082)546-9036 FAX (082)546-9037
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾンズ米202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばり障害者作業所 (八尾市)、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が発送作業の協力をして下さっています。

現地パートナー：Ministerial Development and Relief Programme
 配布担当：MDRPのスタッフと難民キャンプの長老たち
 今回の支援対象：女性と子ども約2000人
 物資の配布場所：Mega care クリニック（10年に亘って難民の健康を管理）
 Breman Esiam ヘルスセンター（孤児及びストリート・チルドレンの健康管理）



リベリア難民の女性や子どもなどに医療支援

JIFHの現地パートナーMDRPは、2001年からガーナでストリート・チルドレン、障がいのある人、未亡人、孤児を対象に支援を続けている団体です。医療の行き届かない農村地域に医療施設を作り治療を行う一方、ブデュブラム難民キャンプにおいてリベリア難民の女性や子どものケアをしています。この難民は故郷に帰れず、90年代後半からきびしい状況の中で生活しています。

またMDRPはガーナ中央部のゴモア・アマンフィにおいてクリニックを開いて、周辺の15の村人5万人以上を支援しています。同じように中央部の5つの地域で活動しています。対象は60%が孤児

を含む子どもたち、20%が女性、15%が高齢者、5%が障がいを持つ人たちです。

ガーナの難民キャンプでは、雨期には多くの子どもたちや女性、青年が様々な病気にかかります。医薬品が到着したことで病気の治療を行うことができました。

命を救われて感謝

右の写真の女性は難民で、腹部の痛みが続いており、死を待つばかりになっていましたが、治療を受けることができて命を取り留めました。みんなとても喜んで神様を賛美し、支援してくださった方のために祈りました。



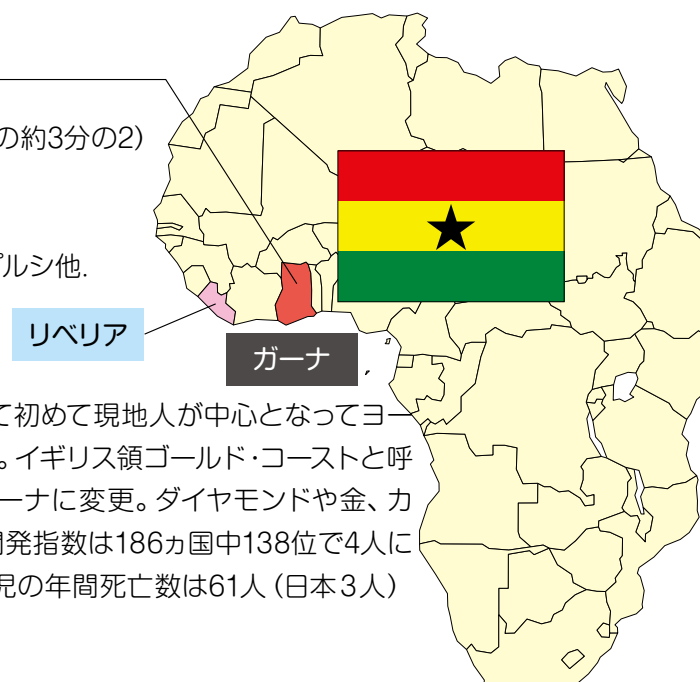
リベリア難民

リベリアでは1989年以降断続的に内戦が続いていましたが、2003年、政府と反政府勢力との間で戦闘が激化し、約27万人の死者、約79万人の難民・避難民が出ました。

ガーナ／GHANA

面積：238,537平方キロメートル（日本の約3分の2）
 人口：2,740万人（2015年：世銀）
 首都：アクラ（Accra）
 民族：アカン、ガ、エベ、ダゴンバ、マンブルシ他。
 言語：英語（公用語）、各民族語。
 宗教：国民の約半数がキリスト教徒

1957年、サハラ以南のアフリカにおいて初めて現地人が中心となってヨーロッパの宗主国から独立を達成した国。イギリス領ゴールド・コーストと呼ばれていたが、独立に際して国名をガーナに変更。ダイヤモンドや金、カカオ豆の産地として有名。しかし人間開発指数は186カ国中138位で4人に1人が貧困に苦しんでいます。5歳未満児の年間死亡数は61人（日本3人）です。



2016 WORLD FOOD DAY 世界食料デー

元FHバングラデシュ事務局長（現FHアジア地域事務所代表）のティム・ダンツ夫妻が10月に来日、世界食料デー大会などで活動報告をされました。JIFHと協力して、バングラデシュならびにアジアで行っている取り組みについてお2人に伺いました。



世界食料デー名古屋大会にて

今回は初めての来日でしたが、

世界食料デー大会のためにお招き頂きとても光栄です。多くの若者をはじめ様々な年代の方が、JIFHの働きに関心を寄せ、喜んで活動に加わり支えているのを見て感動しました。講演の後に追いかけて来て質問されるなど、よい反応があったこともとても嬉しかったです。

FHは支援を開始する際に独自の調査を行っています。今回、世界食料デーの募金でご支援頂く貯蓄グループは、調査で経済的に最貧状態として選ばれた女性たちで、その子どもはチャイルドサポーターの支援を受けています。

貯蓄を通して学ぶ母親たち

バングラデシュでは、女性が家から出る機会是非常に限られています。貯蓄グループは、お母さんたちに、集まって一緒に貯蓄をし投資をするというそれまでなかった機会を与えています。この活動を通してお母さんたちは貯蓄の大切さを学ぶだけでなく、お互いを信用すること、責任を果たしていく



ことを学んできました。貯蓄額が増え、いよいよ借入をして小さなビジネスを始めようというところ

まで来ています。

るようになったのです。そこでは「わたしは教育を受けていないし、子どもたちも教育を受けることができない。わたしたちはずっと貧しかったし、これからもずっと貧しいままだ」という貧困の連鎖が当たり前のように存

貧困の連鎖から解放された喜び

次のステップを踏み出そうとしているお母さんたちですが、実際にビジネスを始める前に、縫製技術やお店の経営などのトレーニングが必要ですので、今回JIFHの協力によってその後押しができることは本当に感謝です。

助けられる側から助ける側に

FHは、支援から脱した地域のリーダーたちが年に一度集まって、その後の地域変革についてお互いの成功例を学びあい、励まし合う機会を提供しています。そこで話された「わたしたちはもう貧しくなんかない」というあるリーダーの言葉に嬉しい驚きを感じました。最貧層として貯蓄グループに選ばれた女性たちがチャリティー基金を作り、他の人たちを助けているというのです。助けてもらう側に身をおいていた女性が、希望と自信をもち、他の人を手助けす

在していました。しかし日本の人たちの温かいご支援によって現地のスタッフがきめ細かい励ましと



世界食料デー八尾河南大会での講演

サポートを続けることができて、絶望を希望に変えることができました。

10数年ご支援頂いたリシパラに引き続き、マチュパラでの支援プログラムが始まっています。本当にたくさんの方々が、JIFHを通してバングラデシュだけでなく、アジア、そして世界で、飢餓と貧困を克服しようとしているコミュニティの変革の歩みを支えてくださっていることを、改めて感謝申し上げます。（ティム・ダンツ）

MERRY CHRISTMAS

もうすぐクリスマス。町では華やかなお祝いムードが目に増えています。しかし世界人口73億人のうち1億6700万人の子どもたちが、今なお極度の貧困の中で暮らしています（ユニセフ調べ）。このような人々も、温かく安らぎのあるクリスマスを過ごし、2017年を希望を持って迎えて欲しいと私たちは願います。（世界里親会）



支援を待つ子どもたち545人に

クリスマスに愛の贈り物を

クリスマス募金

募集目標300万円

郵便振替 00170-9-68590
日本国際飢餓対策機構
「クリスマス指定」と必ず明記。
ウェブからクレジットカードも
ご利用になれます。

ハンガーゼロ 検索

支援を待つ545人の子ども国別人数



JIFHのチャイルドサポーター制度では、世界7カ国10地域の現地パートナーを通して2,000人以上の子どもたちに教育支援を行っています。『2,000人の教育』の背後にはその保護者や兄弟姉妹、その家庭が属する地域の人々の存在がありますから、1人の子どもへの支援が数万人にも及ぶ大きな影響を与えていることになります。

このように点から面へと広がる支援活動が、実を結ぶことができるよう、日々現地パートナーも働いています。

フィリピンとカンボジアの活動およびクリスマスの様子

カンボジアでは、「子ども会」の中でクリスマスをお祝いする予定です。支援を受ける子どもたちの保護者がデザートやオーツ麦のお粥を作って、食事やゲームで楽しい時間を過ごします。新しい年、保護者を含む地域の大人がどのように子どもたちに関わり、生活環境を改善していくかも話し合われます。各家庭と地域の自立のため、子どもたちが教育を受け体も心も健康に過ごせるように、来年も具体的に行動していきます。



カンボジア

子ども会で
行われているクリスマス会
子どもたちのために保
護者も協力しています



フィリピン



食事をしたり、楽しくダンスをしたりしてクリスマスを祝うフィリピンの子どもたち

フィリピンでは、毎年クリスマス会を開いています。支援を受ける子どもは、保護者や兄弟姉妹を連れてクリスマス会に参加します。一緒に食事をしゲームや歌の発表会など楽しい時間を過ごします。各家庭にスパゲッティセットをプレゼントし、家庭に持ち帰って、家で作って家族でもクリスマスをお祝いできるようにしています。また地域の子どもたちに鉛筆やノートなどの文房具をプレゼントしています。新学期まで大切に取っておくようです。

一人ひとり、愛されている存在として

各地域の活動は、それぞれ開始から2～5年が経過しました。現地パートナーは、その地域の宗教・文化（歴史的背景）などを尊重しながら「一人ひとは愛されている存在である」という価値観をもとに活動をしています。人々は励ましを受けながら、築かれつつある信頼関係を礎に、「自分も他者も大切にして共に生き、生活環境の改善に取り組もう。子どもたちに教育を受けさせよう。」と熱心に歩みを進めています。

お寄せいただいた支援金は、子どもたちを取り巻く環境改善の活動のためにも用いさせていただきます。サポーターとの出会いを待っている545人への「子ども支援」にもご協力お願いします。皆さまの愛の分かち合いに、心から感謝致します。

バングラディシュ



バングラデシュのクリスマス会の様子

ボリビア



クリスマス会でホットチョコレートと揚げドーナツを食べています。⑥お祝いの民族舞踊を踊っています

ウガンダ



新教室が完成したウガンダ・カサーレ小学校では、クリスマス支援として机と椅子が新たに整備されました

545人の子どもたちのチャイルド・サポーターも募集しています！！

お申し込みはJIFH公式ホームページから。「チャイルドサポーター」で検索。お電話でもお申し込みできます。



おおねだなみえ
大根田七三枝さん

20年前からチャイルド・サポーターをしてくださっている大根田さんに、その思いを聞かせていただきました。



3年ぶりに訪ねた里子の成長ぶりに驚く

☑ 支援を始めてくださったきっかけは？

大根田 教会でJIFHの講演を聴き、良いお話だったので私が勤めていた児童館にも来ていただきました。共感するところがあって児童館でも地球型募金を置きましたが、トラブルがあったので自分で始めたのです。

☑ 今は4人目の子どものサポーターをしてくださっていますね。里子に対してはどんな思いを持っておられますか。

大根田 今カンボジアの里子がいいますが、手紙は書いたことがないけれど2回訪問しました。

最初は14、5年前で、とても大きな衝撃を受けました。雨漏りしそうなヤシの葉の屋根の家で暮らしていて家具も布団も何もないんです。土間はびちゃびちゃでした。みかん箱のような台の上にノートとペンが置いてあって、その向かいにはかまどの様な火を焚くところがありました。こんなところで健気に一生懸命勉強しているんだとショックでした。是非日本にいる孫を連れてこなくちゃと思って、その後当時中学を卒業したばかりの

女の孫と再度訪問したんです。前回訪問した時子どもたちは英語がしゃべれなかったのに、2回目に行ったら英語がペラペラになっていて驚きました。

3年余の間にどうやって覚えたの、と尋ねると「廃車のバッテリーを充電して、それに古いラジカセをつないで勉強した」とのこと、2度目の衝撃でした。そのテープを何人も一緒に聞いたんでしょうねえ。一人の子は通訳もしてくれました。孫は「英語の勉強をしない…」と言っていました。それで今度は甥をボリビアに行かせました。

暖かい目があれば子は育つ

☑ 長年の支援をしてくださっていますが、それを支えているのは

大根田 私は在職中とその後合わせて50年以上子どもたちと接してきました。そして、子どもは親を選べない、また国も選べないけれどどんなに貧しくても大人や社会の暖かい目があれば子どもは育つということを経験しています。それには長く続けて支援することが大事とも思うので、途中でやめようとしたことはなかったです。里子

の写真を家に置いているので、それを見た人に話をしたら、保険屋さんや友人など3人がチャイルド・サポーターを始めてくれましたよ。

☑ JAさんも自動販売機で協力してくださいましたね。

大根田 あそこは精米機が横にあるので、精米をしている間に読んでもらえる様にJIFHのちらしを置いてはどうでしょうね。



《取材メモから》

大根田さんはJIFHのファシリテータートレーニングにも参加され、援助の考え方やありようを学ばれました。



常総市の復興支援に感謝

常総の水害から1年。これまで支援活動を続けてこられたボランティアグループ「常総復興を支える会」会長大上仁さんの報告です。

2015年9月の集中豪雨で5,000軒以上もの全半壊被害を出した常総市の水害では、実家も半壊の被害を受けました。近隣教会等の協力を得て被災者支援活動を行っていましたが、10月になりボランティアが激減。SNSなどを通して常総支援を要請し続けましたが、失望するだけでした。10月31日、心も体も疲れ切って行った教会の礼拝説教は、旧約聖書ネヘミヤ書



橋本町での排水作業被災当所

から「わたしが再建する」でした。帰りの電車の中で祈りました。「神様が常総を再建するとおっしゃるなら、最後の望みをかけてJIFHに支援要請をします。もしだめならもう手を引かせてください」。こうして家に帰りJIFHのホームページから連絡を入れたのです。翌日の午前中に電話があり、そこからJIFHによる常総への支援が始まりました。他の団体が

手を引き始めたタイミングでの支援開始は、神様の計らいでした。

地元の人々とのスクラム

昨年11月からスタートした支援は、月1回のペースで実施されました。まずは避難所であった石下総合体育館での炊き出しと被災した家の泥出し清掃。地元教会の牧師先生も参加。12月は被害が深刻であった橋本町で、パン・アキモ様の協力を得て500食の揚げパンによる炊き出しやふかふかパンのプレゼント。常総市長もかけつけ市民を激励されていました。

今年1月には被災した畑のゴミ拾い。常総市出身の女優、羽田美智子さんも参加し、地元新聞も記事に。2月3月は、常総復興を支える会が主催でお茶会コンサート。JIFHを通して参加したボランティアさんたちが引き続き協力してくださいました。

親善大使を派遣

4月には、被災した畑での種まきボランティア。羽田美智子さんが参加され、テレビでも放映。5月は、以前にも報告された「常総復

興サッカー大会」。中田浩二選手のサッカー教室や、神奈川の強豪エスパルスと地元チームとの親善試合に協力。6月には「森祐理さんコンサート」。地元森下町主催で130名の方が来られました。

10月には、日本福音同盟からの支援もありソン・ソルナムさんのチャリティーコンサートが行われました。8日、市役所市民ホールで50名以上が参加、内30名は地元高校生でした。9日には市役所とJA常総、がんばっぺ常総の共催によるイベント「がんばっぺ常総2016」があり、ソルナムさんと司会の羽田美智子さん、シンガーソングライターの嘉門達夫さん、サックスのルカスさん、地元中学生とのコラボでした。1000人以上もの参加者と共に復興ソングやふるさとを大合唱。地元の方々への大きな慰めとなりました！感動した地元の方々より、JIFH親善大使の森祐理さんやソルナムさんを今一度呼びたいとの声。

約千人が市外へ流出して心の傷が大きい常総市の方々に、続いてのご支援をよろしくお願いいたします。